



国立大学法人愛媛大学附属病院
開院 50 周年記念事業寄附趣意書



謹啓

皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素より愛媛大学医学部並びに附属病院の教育・研究・診療活動に対しまして、格別のご支援ご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、愛媛大学医学部附属病院は、昭和 51 年の開院以来、令和 8 年におかげさまで 50 周年という節目を迎える運びとなりました。これもひとえに、同窓生、関連病院、関連企業、そして地域の皆様からの温かなご支援と深いご理解の賜物であり、改めて感謝の意を表します。

当院は、「患者から学び、患者に還元する病院」という基本理念のもと、開院以来、最先端の医療と地域医療の調和を追求し続けてまいりました。そして、その歩みは、国内外の医学・医療の発展にも微力ながら貢献してまいりました。これからも、地域に根ざした愛媛大学医学部附属病院として、さらなる診療・研究・教育の向上に邁進してまいります。

このたび、この 50 周年の節目を記念し、以下の記念事業を実施する運びとなりました。

1. 患者サービス向上事業の推進
2. 附属病院開院 50 周年記念誌の発行
3. 催事の開催

これらの事業を通じて、ともに歩んできた皆様への感謝を形にし、未来への新たな一歩を踏み出す機会にしたいと考えております。

つきましては、この記念事業の実現に向け、皆様からのご支援を賜りたく、「50 周年記念事業寄附」を募ることといたしました。個人として 10 万円以上、法人として 50 万円以上のご寄附をいただいた方には、附属病院内に設置予定の感謝銘板と附属病院 HP にお名前を掲示させていただきます。また、ご寄附は税制上の優遇措置（寄附金控除又は損金算入）の対象となります。

50 年にわたる歴史をともに築いていただいた皆様、そして未来の医療をともに創る皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。何卒、本趣旨をご理解いただき、記念事業の成功に向けたご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のますますのご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。

謹白

令和 8 年 4 月 吉日

愛媛大学医学部附属病院長	羽 藤 直 人
愛媛大学医学部長	竹 中 克 斗
愛媛大学医学部同窓会長	鍋 加 浩 明
50 周年記念事業寄附・募金 WG 長	城 戸 輝 仁